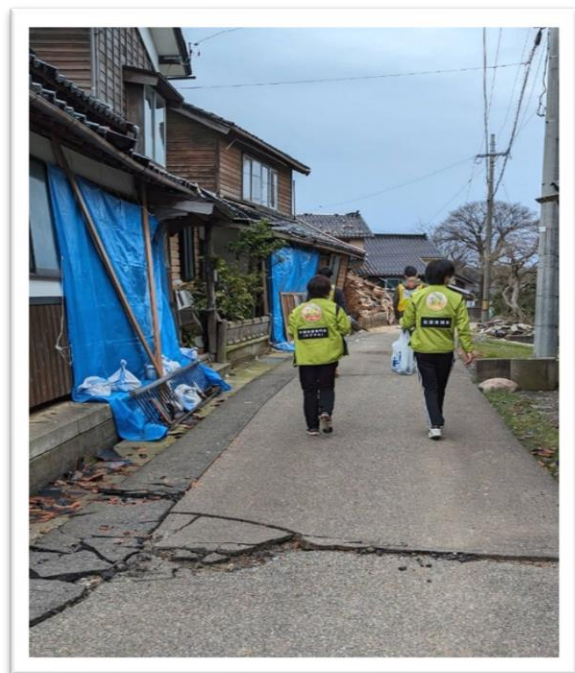


能登半島地震「輪島市」：福井 DWAT（災害派遣福祉チーム）活動紹介



令和 6 年 2 月 18 日～21 日(3 泊 4 日)の間、能登半島地震で甚大な被災地となった輪島市へ派遣される「福井県 DWAT（災害派遣福祉チーム）」に参加してきました。

DWAT の主な活動内容は、被災地の一般避難所で 2 次被害や関連死、孤独死がないように相談窓口の設置と巡回を行なうこと。また、避難者対応を行う中で、福祉ニーズの把握と簡易的なアセスメントによる要配慮者の確認や福祉的トリアージ(選別)を実施していくことになります。

地震後に輪島市に入った DWAT 活動は我々のチームが初めてということで、まず輪島市とニーズのすり合わせと DWAT 活動の周知をおこないました。

そうして、一般避難所を数か所回りながら、被害状況確認とその中で DWAT にできることをチームで共有し、輪島市に対応を提案してきました。

輪島市役所との話し合いの結果、

100 人規模の避難所 2 箇所相談ブースを開設できました。

全国社会福祉協議会によると、令和 6 年 2 月までは各被災地に千葉、岡山、福井 3 県から派遣の DWAT 活動が実施され、3 月以降、あらたに 6 県の DWAT 協力が得られているそうです。

今回、一般避難所周辺では福祉避難所の開設や在宅福祉サービスが始まっていない状況の中、まだまだ要配慮者の方々がおり、福祉的な支援が必要な状況でした。

或る避難所で被災者リーダーをされている防災士さんは、ご自宅が全壊したなか、避難所運営をしっかりと行っておられました。多くの方が被災されて、避難所で大変なご苦勞、ご心痛でお過ごしです。

また次の福井 DWAT 活動の要請があれば、参加して少しでもお役に立てればと思います。

坂井市三国地域包括支援センター
センター長 安野 光暢